

情報モラカッパ通信 No.9

金石中学校PTA・平成28・29年度研究テーマ

親子で学ぶ情報モラル

いつもPTA活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、2月に実施した「第2回『情報モラル』に関する保護者アンケート」
に対して、たくさんの方にご協力をいただき、ありがとうございました。
集計がまとまりましたのでお知らせします。



情報モラカッパ

アンケート実施日 2月8日 ~ 2月17日
サンプル数 299人 / 430人（全生徒の延べ保護者人数）
(回収率70%)

< 第2回アンケート結果（前回9月との比較） >

① ネット利用できる通信機器はあるか？

| | 前回 | 今回 |
|----|-----|-----|
| 有り | 89% | 97% |
| 無し | 11% | 3% |

前回結果より、「有り」が8%増えた。
ネット利用できる環境が増えたというより、
ネット利用のない家庭でのアンケート
回答が少なかったからと考えられる。

子どもがネット利用していない家庭で、
予習的な「情報モラル」への関心を、どう
盛り上げていくかが、新たな課題である。



| | 子ども用端末の所持 |
|-----|-----------|
| 有り | 74% |
| 無し | 21% |
| 未回答 | 5% |

ネット環境のある家庭において、子ども
用端末の所持率は74%であった。この
数字は、スマホ・タブレットだけではなく、
ネットにつながるゲーム機、音楽プレーヤ
ーなども多く含まれる。

多くの子どもが、何かの形で自分用の
ネット利用環境を持っていると考える。

現状の使い方では心配なくても、何かき
っかけがあれば、子どもがいつでも使える
環境にあることを、忘れてはいけないと
考える。

※注意!! スマホの所持率ではありません。

②ペアレンタルロック（機能制限）やフィルタリングなどを設定しているか？

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----|-----|
| している | 49% | 47% |
| していない | 51% | 53% |

※フィルタリング設定は、今すぐできる、「情報モラル」の具体的な取組みです。

前回結果より、「していない」が2%増えたが、ほぼ同じ結果といえる。半分以上の家庭で未対策になっている。

アンケートの実施間隔が5ヶ月では、周知効果が薄いからではないかと考えた。しかし、「していない」理由に、「設定がわからない」「設定すると不便」「する必要を感じない」という意見もあった。

周知期間の問題ではなく、必要性や操作方法など周知内容そのものの再検討も課題といえる。

③ お子さんとルールを決めているか？

| | 前回 | 今回 |
|----|-----|-----|
| 有り | 68% | 61% |
| 無し | 32% | 39% |

前回結果より、「有り」が7%減った。しかし、下記④のルール明文化の比率は、ほぼ同じである。

これは、ルール決めをやめたのではなく、子どもとルールを決めていたつもりが、決めたことになってないと見直す保護者が増えたからではないかと考える。

「ルール無し」には、ほとんどネット利用しておらず、ルールを決める必要がないや、子どもの自主性に任せているという意見など、その家庭による考え方もある。

④ そのルールを明文化しているか？

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----|-----|
| している | 45% | 46% |
| していない | 54% | 54% |
| 未回答 | 1% | — |

ルールの明文化には、決め決めなものだけでなく、壁のボードに一つだけ大きく書くなど、おらかな内容も含んでいる。

口頭では、その時だけや、親だけの一方的な認識になることもある。簡単でも、何かしら明文化して目に入るようにすることは、親子共に認識し、注意喚起になると考える。

⑤ 夜 10 時以降の使用を制限しているか？

| | 前回 | 今回 |
|-------|-----|-----|
| している | 61% | 64% |
| していない | 39% | 36% |

前回結果より、「している」が3%増えた。「していない」には、制限しなくても、ほとんどネット利用しておらず問題ないという家庭も含んでいる。

反面、言っても聞かない、きりなく使っているという悩みを書かれた家庭もある。

子どもの健康面や生活リズムを崩さないためにも、保護者全体で時間意識を持たせる雰囲気作りは大事ではないかと考える。

⑥ 子どもの使用内容を点検しているか？

| | 前回 | 今回 |
|-----------|-----|-----|
| 定期的に確認 | 13% | 10% |
| 時々見ている | 27% | 40% |
| 子どもに任せている | 60% | 50% |

前回結果より、使用内容を見ている方（「定期的に確認」「時々見ている」の合計）が10%増えた。

これは、保護者による監視や管理が強化されたというより、今回の取組みを通して、子どもが何をしているのか、何を見ているのかという関心の高まりだと考える。ネット利用では、子どもの習熟率の方が早く高い場合も多い。子どもの世界に関心を持ち、子どもに教えてもらう関係もありである。

※大事なのは、子どもへの関心である。

反面、「任せている」が、子どもを尊重しているようで、無関心や放任となっていないかと省みることも大事といえる。

⑦ 昨年9月以降、子どもと「情報モラル」について話し合ったか？

| | |
|----------|-----|
| 十分に話し合った | 6% |
| 話題に上がった | 54% |
| 話し合っていない | 36% |
| 未記入 | 3% |

今回の取組みを通して、60%の家庭で、親子で「情報モラル」について話し合う機会が生まれた。これは PTA 役員一同、大変うれしい結果である。

いろんな家庭事情にあって、ネット利用の形もさまざまである。「情報モラル」が親子の話題となり、何が問題となるか自分で考えられることが、とても大切である。

その上で、「話し合っていない」家庭にある背景について考えていきたい。

※このPTA活動では、ネットの使い方等、積極的に話題にさせていただくことで、家庭内コミュニケーションが充実していくことを願っています。

情報モラル = 日常モラル × ネットの特性理解 × 想像力/判断力

(LINE 株式会社の講演会資料より)

⑧ 配布した「情報モラカップ通信」は、興味や関心の持てる内容だったか？

| | |
|---------|-----|
| 非常に持てた | 21% |
| 参考になる程度 | 70% |
| 持てなかった | 7% |
| 未記入 | 2% |

90%以上の方に、大なり小なりの興味や関心を持って読んでいただけた。これも大変うれしい結果である。

きっかけがあれば話題に上がる。気になることがあれば、いつでも気軽に相談できる。そういう雰囲気づくりをしていきたい。

通信の作成を通して、私たちPTA役員も知らないことが多く、失敗もしましたし、とても勉強になりました。

※「情報モラル」について、みんなで考える雰囲気作りをしていきたい。



⑨ ご家庭での主なルールや、工夫されていること

- ・使用時間の制限（1時間／日、勉強が終わってから、テスト前禁止、使用時間の報告など）
- ・使用場所の制限（リビング、親の居るところ、外に持って行かないなど）
- ・保管場所の管理（夜は親に渡す、リビングに置く、テスト前は預かるなど）
- ・パスワードを親に知らせる（設定を勝手に変えない、または、子どもに教えないなど）
- ・使用内容を確認（親がいつでも見れる、見れば履歴もわかる、その条件で使わせるなど）
- ・まめに声掛け（悪口や個人情報を書き込まない、課金はしない、有害サイトにアクセスしないなど）
- ・ゲーム、アプリのダウンロードの制限（禁止、許可制）
- ・成績が落ちたら、ルール守れないと、生活乱れたら解約（もしくは、取り上げ）
- ・持たせる前に家族会議（必要性の確認、ルール決め、親がお金を払っているなど）
- ・中学生のうちは、携帯やスマホを持たせない（人は人、我が家は我が家の考え方あり）

※すべて子どもの自己責任と思って、子どもの自主性に任せる、という意見もあり。

⑩ 主なお困りのこと（困っている家庭の意見は切実である。みんなで考えたい）

- ・時間やルールが守れない（長時間や夜遅くまで使用、親が寝た後に使ってもわからないなど）
- ・依存性が高い（時間あればずっと触っている、動画を長時間視聴、注意すると怒るなど）
- ・親が使い方をわからない（フィルタリング設定や操作方法など、子どもの方が詳しいなど）
- ・子どもの視力低下、学力低下（長時間動画の視聴、勉強に身が入らないなど）
- ・友だちとの関係（持っている友だちをうらやましがる、話題に入れない、夜の電話など）

◎PTA 実行委員会での話し合いより

- ・実際にフィルタリングを設定したら、けっこう使えないアプリや機能があり不便だった。何か個別に設定できるのかもしれないが、よくわからなかった。
- ・ネット利用に関して、その家庭による、さまざまな事情や考え方がある。PTA 活動では、何か一つの価値観を押し付けるのではなく、さまざまな視点や価値観を知るきっかけ作りをしていくことが大事ではないか。
- ・親から子どもへ、一方的にルールで束縛したり、トラブル事例で怖がらせても、子どもは隠れてしたり、開き直ったり、他人事となって歯止めにならない。子ども本人の意識が変わらなければ、何をしても変わらないだろう。
- ・このアンケート結果は、とても正直な数字だろう。この内容がどうなれば良いのかも、よくわからない。あせらず、あわてず、ねばり強く、継続的に考えていくテーマだと思う。
- ・PTA 提言のフィルタリングやルール決めも、大事なものは、「情報モラル」の具体的な話題として、家庭ごとに、その必要性や考え方を、親子で話し合えることだといえる。

これまでの学びを踏まえて、今できることから、やっていきたい。そして、考えたい。

☆（親子で考えたい）PTA 実行委員会からの提言

- 全家庭でフィルタリングをかけましょう。（外部からの被害にあわないために）
- 全家庭でルールを決め、明文化しましょう。（生活のリズムを崩さないために）